ＪＡ－ＩＴ研究会

第４４回公開研究会・2016年度商談会のご案内

10月14日（金）までに
お申込みください

日　時　2016年10月21日（金）13:00 ～
22日（土）　9:00 ～ 12:00

場　所　東京・ＪＡビル27階 大会議室

テーマ　今こそJA営農経済事業改革の正念場、どこから改革に着手するか――購買事業と販売事業の課題を具体的、かつ徹底的に掘り下げる――

コーディネーター　◆松岡 公明（JA-IT研究会 企画委員）

1日目　10月21日（金）

購買事業改革の部

12:00～13:00　受付

13:00　開会挨拶
◆吉田 俊幸（JA-IT研究会 副代表委員、農政調査委員会 理事長）

13:05～13:55　特別報告
全農の事業戦略
◆久保 省三（JA全農 営農販売企画部 部長）

13:55～14:50　総合解題
JA営農経済事業改革を「空振り」で終わらせないために――購買・販売事業の問題点と改革の課題を論点整理する
◆松岡 公明（JA-IT研究会 企画委員、農林年金 理事長）

15:00～16:10　報告１
情報開示と組合員総参画による地域営農システムづくり――JA改革の一方策としての「JA甘楽富岡購買品取引委員会」の機能
◆黒澤 賢治（JA-IT研究会 副代表委員、JA甘楽富岡 理事 総務・金融委員長）

16:10～16:45　報告２
ＪＡいわて花巻における営農経済事業改革と収支管理
◆瀬川 公（JAいわて花巻 西和賀統括センター長）

16:45～17:45　総合討論

18:15～20:00　交流懇親会（別会場にて）

2日目　10月22日（土）

販売事業改革の部

9:00～10:00　報告３
手数料主義からの脱却と買い取り販売のリスクとコストの徹底解明
◆仲野 隆三（JA-IT研究会 副代表委員・元JA富里市 常務理事）

----------ここからは商談会と併催----------

10:10～10:45　報告４
JAおうみ冨士――コメの契約販売で見えてきたこと
◆木村 義典（JAおうみ冨士 代表理事専務）

10:45～11:20　報告５
JAこばやし――ゴボウの買取り販売と野菜の契約販売で見えてきたこと
◆坂元 誠（JAこばやし 園芸農産部　営業販売課 販売主任）

11:20～11:55　総合討論

11:55～12:00　閉会挨拶
◆今村 奈良臣（JA-IT研究会 代表委員）

2016年度商談会

日　時　2016年10月22日（土）　10:00 ～ 12:00
（第44回公開研究会２日目と併催）

場　所　東京・ＪＡビル27階

ＪＡ営農経済事業改革の要である農産物マーケティングの実践を支援するため、また、人材養成セミナーのフォローアップとして、商談会を第44回公開研究会と併催します。詳しくは次ページ以降をご参照ください。

今こそJA営農経済事業改革の正念場、どこから改革に着手するか

――購買事業と販売事業の課題を具体的、かつ徹底的に掘り下げる――

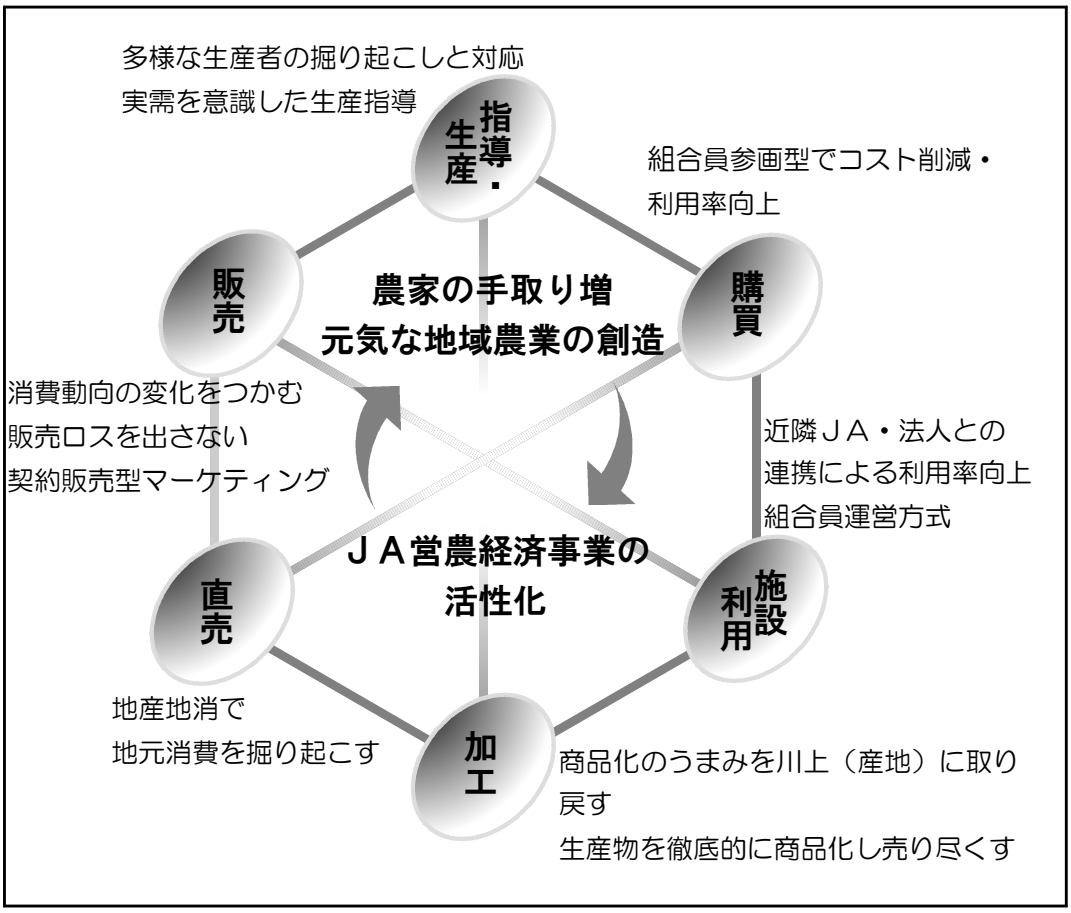
2001年9月に設立されたJA-IT研究会は、「生産者手取りの最優先」を基本に置き、「JA営農経済事業の活性化」を一貫して追求してきました。

新聞報道によれば、政府・与党が11月に農業改革を取りまとめるにあたって、JAグループの経済事業改革の重要性が認識されているとのこと。このような情勢に鑑み、第44回公開研究会では、JA-IT研究会のこれまでの成果を踏まえながら、JA営農経済事業改革にどこから着手するか具体的に深めます。

指導・生産―購買―施設利用―加工―直売―販売の各事業部門は緊密に連関しており、ひとつの事業部門の改革は他の事業部門にも波及しますが、今回は購買事業と販売事業の課題を具体的、かつ徹底的に掘り下げます。

その際、「当事者意識に立った参画と合意形成はJA協同活動の魂であり方法論そのもの」という基本スタンスに立って、単なるコストダウン路線ではない、JAの協同活動に裏打ちされた経済事業のあり方を追求したいと存じます。

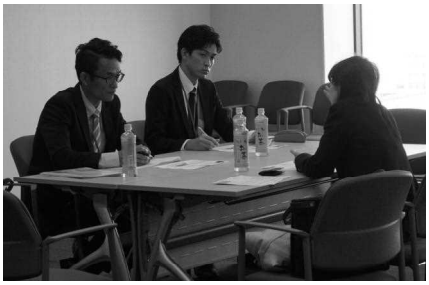
何かとご多忙の時期とは存じますが、全国のJAの皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げております。



2016年度商談会の開催について

日　時　2016年10月22日（土）　10:00 ～ 12:00　（第44回公開研究会２日目と併催）

場　所　東京・ＪＡビル27階 第１中会議室



2015年度商談会のようす

JA営農経済事業改革の要である農産物マーケティングをJAが事業として実現できるよう支援するため、JA-IT研究会では「商談会」を開催します。多様な組合員の販売事業への参画を促し、新たな地域農業デザインを構築する起点として、また消費者との連携、都市との交流をむすぶ場として、また、「人材養成セミナー」を受講された皆様は、セミナーで学ばれたことを実践する場として、ぜひご参加ください。

「新しい品目の拡大のため、販路を開拓したい」「直接取引に取り組んでみたい」とお考えのＪＡの皆さま、ぜひ、その最初の足がかりとして商談会をご活用ください。量販店・生協などから複数のバイヤーが参加します。

具体的に提携を希望する実需先があれば、事前に事務局にご相談ください。可能なかぎり、対応いたします。

●参加取引先

※参加エントリ状況およびご要望に応じて参加を要請します。

●お申込み方法

同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、ＪＡ－ＩＴ研究会事務局宛に**10月14日（金）まで**にFAXでお申込みください。

※商談会参加申込書には、下記を必ずご記入ください。

①取引希望品目　②商品の種別（生鮮／特産品）

③商談希望の取引先種別（量販店、小売、卸、生協など）または具体名

●商品台帳（提案書）の作成につきまして

商談会参加にあたっては、事前に**商品台帳（提案書）**を作成ください。

手順:①参加申込書にメールアドレスをご記入ください

②商品台帳記入用のフォーマット(Excel)をメールでお送りします

③商品台帳をご記入のうえ、メールでご返信ください

→ 商品台帳の記入例

品名	つまみな
品種	抜き菜用大根
品種特徴	かいわれに毛がつかない青芽系。味が良く、葉にボリュームがある。葉の太りが良い。
規格(C/S)	200g×30ノ/ケース
参考価格	通貨込み(税別) 95円/袋
規格(店頭)	200g(量目は変更できます)
価格(店頭)	148円 ?

商品特徴

手軽にしっかり緑黄色野菜！　農薬使用無しで安全・安心！

★ クセがなくほんのり甘いつまみなはどんな料理にも使えます。

★ クセがないので、野菜嫌いな子供にもおすすめ！しかも栄養満点！
ちなみにうちの子は野菜嫌いですがつまみなは食べます(笑)
子供の栄養が気になるお母さんに自信を持っておすすめします！！
しかも切ってそのまま使えるのでとても手軽です。

★ 葉物の出回りが少なくなる時期でも安定的に生産できます。

機能性

作物に含まれる栄養素(五訂日本食品標準成分表に準拠)・可食部100g当たりのとき

Drg	Na	K	Ca	Mg	P	Fe	Zn	Cu	Mn	SODフン	VA	VE	VK	VB1	VB2	ナイアシン	VB6	VC
Kcal	mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg	μg	μg	μg	μg	mg	mg	mg	mg	mg
20	22	450	210	30	55	3.3	0.4	0.1	0.2	1900		1.4		270	0.06	0.14	1.0	0.1	47

未成熟葉の緑黄色野菜である。不足しがちなカルシウム・鉄分が同じ傾向（ホウレンソウ、小松菜等）と比較しても多く含まれ、ビタミンCについては特に多く含まれます。

方保法存　冷蔵保存。若い芽（葉）なので高温や温度変化には弱いです。

方調法理　【生でも火を通してもおいしくお召し上がりいただけます。どんな料理にも使えます。】
◆生でサラダ　◆さっと湯がいておひたし　◆油揚げと一緒に煮びたし
◆できあがり直前の味噌汁にさっと浮かべて簡単健康味噌汁　◆スープ

目利き

◆緑が濃くみずみずしいものがおすすめ。
◆葉が大きすぎず茎とのバランスがよいもの
◆葉の形状がはっきりしているもの

産地	新潟県上越市
生産者	JAえちご上越つまみな部会(エコファーマー認定農家)
時期	8上 ～ 10中

栽培特徴

◆ 有機質肥料施用で化学肥料低減。
※土中ぼかし(骨粉・魚かす・大豆・米ぬか・油かす)使用
※もみがら堆肥使用
◆ 土壌消毒にも薬を使いません。
※太陽熱消毒
◆ 農薬使用なし。
◆ 播種から収穫までが短いため計画的にかつ安定的に供給できます。
※苗場は播種から10日以内で収穫できます
◆ ハウス栽培なので品物がキレイで品質も良くなります。

生産地特徴)

上越市は、多様な自然を有する海・山・大地に恵まれた自然豊かな地域です。

上越市の位置

農薬

登録農薬がないため農薬は使用しておりません。

農薬の慣行基準

使用回数	作型	地方公共団体名	策定日
0回			

物流

	0日	1日	2日	3日	4日	5日
	収穫	各卸	来場売生			
	収穫	冷蔵	冷蔵			

記入項目（例）

①品名・品種・価格

②産地・生産者・時期

③商品特徴

④機能性

⑤保存方法

⑥調理方法（調理提案）

⑦目利き

⑧産地特徴・産地特徴

⑨農薬使用

⑩物流

商談会責任者: 黒澤 賢治（JA-IT研究会 副代表委員）
商談会事務局: JA-IT研究会事務局
JA全中 営農・経営戦略支援部 担い手総合支援課内
農文協 経営局内

■公開研究会 参加費（当日会場で申し受けます）

会　員:12,000円（交流懇親会費 込）

※　会員ならびに団体特別会員で 2 人目以降の参加者は、参加費が 9,000 円になります。

非会員:17,000円（交流懇親会費 込）

※※ 会員・非会員ともに、参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は別途ご手配ください。

■参加お申込み方法

同封の参加申込書にご記入のうえ、、Fax で下記宛にお送りください。

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 （一社）農文協 経営局内

JA-IT研究会事務局 宛

Fax. 03-3589-1387

○申込み締切　2016年10月14日（金）

※締切日を過ぎてのお申込みは、ＪＡ－ＩＴ研究会事務局宛ご相談ください。

※ＪＡビルに入館するには、氏名の事前登録が必要です。必ず事前に参加お申込みください。原則として当日の飛び入り参加はご遠慮ください。

■会場

ＪＡビル（〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 ＪＡビル）27階

大手町駅（地下1階にてC2b出口が直結）
東京メトロ/千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・東西線、
都営三田線

竹橋駅（4出口から徒歩3分）東京メトロ/東西線

東京駅（丸の内出口から徒歩15分）ＪＲ各線

□ＪＡ－ＩＴ研究会 ホームページ: http://www.ja-it.net/

□ＪＡ－ＩＴ研究会 事務局

○ **全国農業協同組合中央会（ＪＡ全中）**営農・経営戦略支援部 担い手総合支援課内

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 ＪＡビル

○ **一般社団法人 農山漁村文化協会（農文協）**経営局内

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1

◆実務的なお問合せは下記にお願い申し上げます。

一般社団法人 農山漁村文化協会 経営局内 ＪＡ－ＩＴ研究会事務局

Tel: 03-3585-5211　Fax: 03-3589-1387

E-Mail: info@ja-it.net

オモテ

Fax： 03-3589-1387

ＪＡ－ＩＴ研究会「第 44 回公開研究会」参加申込書

日にち：2016 年 10 月 21 日(金)～10 月 22 日(土)

於：大手町・ＪＡビル　27 階「大会議室」

申込〆切：2015 年 10 月 14 日（金）

申込先：ＪＡ－ＩＴ研究会事務局

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 農文協内

TEL. 03-3585-5211　FAX. 03-3589-1387

E-mail：info@ja-it.net

●参加費・懇親会費は当日、会場受付にて現金で申し受けます。その際、領収書を発行いたしますが、領収書の宛名や但し書にご要望がございましたら、事前に事務局までお申しつけください。

●参加予定が変更になった場合は必ず事前にご連絡ください。

（複数でご参加の場合は、本用紙を複写して申し込み願います）

(ふりがな)
(お名前)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿歳　　会員　／　非会員

【ご所属先】

〒＿＿＿＿＿　(ご住所)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(団体名・部署・役職)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(TEL)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　(FAX)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(E-mail)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【参加日程】（右の空欄の「参加・不参加」のどちらかを○で囲んでください）

研究会１日目　（10 月 21 日（金）13:00～17:45）	参加	不参加
交流懇親会　（10 月 21 日（金）18:15～20:00）	参加	不参加
研究会２日目　（10 月 22 日（土）　9:00～12:00）	参加	不参加
2015 年度商談会　（10 月 22 日（土）　10:00～12:00）	参加	不参加

※商談会に参加される方は、裏面の詳細事項をご記入のうえ、あわせてＦＡＸください。

【参 加 費（懇親会費込み、宿泊費別途）】

会　員：12,000 円　＊会員ならびに団体特別会員で２人目以降は参加費が 9,000 円になります。

非会員：17,000 円

※宿泊は別途、各自ご手配ください。

Z2

ＪＡ－ＩＴ研究会 2016 年度商談会　参加申込書

ＪＡ名	
商談会出席者氏名	
担当部署	
ご連絡先（職場）	（住所）
	（電話）　　（FAX） （携帯）
	（E-mail）
取引希望品目　１	（ 生鮮 ・ 特産品 ）
取引希望品目　２	（ 生鮮 ・ 特産品 ）
取引希望品目　３	（ 生鮮 ・ 特産品 ）
希望取引先名 （または種別）	

※10 月 14 日（金）までにお申し込みください。

ファックス送信先⇒ＪＡ－ＩＴ研究会事務局（農文協内）

Fax. 03(3589)1387

※参加者が複数の場合は、用紙をコピーしてご記入ください